

「胃がんリスク層別化検査（ABC分類）」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、「胃がんリスク層別化検査」で運用しているヘリコバクター・ピロリ抗体(EIA)につきまして、本年4月より認定NPO法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構の推奨に基づき、検査内容を変更させていただきます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

変更内容

● 胃がんリスク層別化検査（ABC分類）

[2361]ヘリコバクター・ピロリ抗体／ABC

	新	旧
検査項目名	Hp抗体／ABC：LA	Hp抗体／ABC
測定方法	LA（ラテックス凝集比濁法）	EIA
測定試薬	Lタイプワコー H.ピロリ抗体・J （富士フィルム和光純薬株式会社）	Eプレート・栄研・H.ピロリ抗体Ⅱ （栄研化学株式会社）
判定基準	4U/mL 未満	3U/mL 未満
所要日数	2～3日	2～6日

認定NPO法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構から、ヘリコバクター・ピロリ抗体の検査試薬について、現在使用しているEIA法試薬とは別にラテックス(LA)法試薬を推奨する発表がなされました。当社と致しましては、その中で評価されている別メーカーが販売するラテックス凝集比濁法(LA)に変更いたします。

LA法では、現行のEIA法と比べ未除菌の委縮性胃腸炎症例に於ける抗体偽陰性率が有意に低くなり、胃がんリスク診断の偽A群判定率が低減します。また、感度および検体処理能力が向上し、所要日数が短縮されます。

※[2118]ペプシノゲンの検査内容に変更はございません。

変更期日

● 2021年4月1日（木）受付分より